

## 授業計画書(シラバス)

教科名	応用造形	曜日 時間	水曜日 9:10～15:50	担当者名	本郷 仁
(年間 26回 授業日)	前期指導案			後期指導案	
	4月	12 19 26	10月	4 11 18 25	
	5月	10 17 24 31	11月	1 8 15 22 29	
	6月	7 14 21	12月	6 13 20	
	7月	5 12	1月	17 24	
	9月		2月		
方授 法業	( 講義 ・ (実技) )			( 講義 ・ (実技) )	
授 業 内 容	<p>《大阪産業大学との連携授業》 大阪産業大学建築・環境デザイン学科笹岡研究室の学生と共同で、ガラスプロダクトのデザインと実制作について学ぶ。 4～6月：毎週水曜日、Skypeによる合同授業 6月中旬：来所予定。試作品を基に検討 7月中旬：プロトタイプ完成</p> <p>《Jara先生のコールドワーク指導》 研究所での設備使用について集中講義を受ける。</p> <p>《アイデア展開》 各自の作品を展開するために、お互いの発想や表現方法について検証する。</p>			<p>《ガラス制作者として必要な、素材や設備機材に関する知識を、講義と制作を通して学ぶ》 ガラスの物理的特性、溶解炉・電気炉の仕組み、ガラスの製法、歴史から見たガラス工芸・美術など。</p> <p>《素材研究実習、クイックプロジェクト》 ガラス素材の特性を理解し、新たな発想のきっかけを見つけるために、ガラスを用いた実験的製作を行う。毎週テーマを設け、ガラス以外の素材を用いた小作品の製作を行い、素材の特性と視覚表現の基礎を学ぶ。</p> <p>《デジタル技術演習》 富山県デザインセンターを利用して、デジタル技術について学ぶ。</p>	
到達 目標	他者との協働(グループワーク)と個々の作品の検証を通して、柔軟な発想力を養い、より個性的な表現の確立を目指す。			将来を見据えた制作の方向性の模索と、制作発表に関する実践的な知識経験の獲得。	
成績 基準 評価	各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。 提出課題作品の相対的な質と量。			各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。 提出課題作品の相対的な質と量。	
事留 項意	大阪産業大学との打ち合わせ (共通認識の確認)			本クラス課題と各人の研究制作の時間的バランス。	